

第67期 中間株主通信

平成24年9月1日から平成25年2月28日まで



ヤマト インターナショナル株式会社

証券コード 8127

》 株主の皆様へ



取締役社長 盤若 智基

株主の皆様方には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第67期中間株主通信（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）をお届けするにあたり、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代に伴う経済政策への期待から、為替・株価が好転し、一部では景気回復に明るい兆しも見え始めましたが、欧州経済の停滞や中国をはじめとした新興国の成長鈍化等、世界経済の回復は不安定であり、依然として予断を許さない状況となっております。

当業界におきましては、平成24年11月の気温低下により防寒衣料の販売が堅調に推移いたしました。天候不順の影響や消費者心理の冷え込み等、先行き不透明な市場環境となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは、基本方針である「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を念頭に、「先10年戦える“小売型アパレル”への転換」を新たな中長期目標として掲げ、本社における考え方・価値観を統一し、収益性・成長性・具体性が見込める事業の強化に注力してまいりました。

販売面について

販売面では、「クロコダイル」の既存事業部を「直営部」「東京営業部」「大阪営業部」「商品企画部」に再編成し、直営店



crocodile tokyo 表参道店
平成24年12月21日オープン

ビジネスの強化やメンズ・レディースの運営効率化に取り組んでまいりました。また、平成24年12月には新業態となる「crocodile tokyo（クロコダイル トーキョー）」の第1号店を東京・表参道に出店する等、当社最大の基幹ブランドである「クロコダイル」の新たな展開を図ってまいりました。

自主管理型売場の店舗数は前期末より純増で2店舗増加し、858店舗となりました。海外（中国）にて展開中の1店舗を含めると、総店舗数は859店舗となり、順調に推移しております。

また、重要事業であるeコマース事業につきましては、前期末より開始したスマートフォン対応サイトが堅調に推移しており、今後も更なる事業内容の拡充を図ってまいります。

なお、不動産賃貸事業につきましては、引き続き東京本社ビル及び日本橋ビル等、自社物件の有効活用に努めております。

経費面について

経費面では、諸業務の効率化をはじめ、生産拠点を東南アジアにシフトし、生産コストの削減を図る等、より一層の「ローコスト経営」を徹底してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマトファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度向上に注力し、また布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時裝有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営の強化を図ってまいりました。なお、中国国内販売を行う可似家商貿（上海）有限公司では、中国におけるビジネスモデル確立に向け、日々努力しております。

業績について

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が127億7千4百万円（前年同期比3.4%増）と増収になりました。利益面では売上総利益率は49.0%と0.4ポイント上昇し、営業利益は7億7千万円（前年同期比6.2%増）、経常利益は8億2千7百万円（前年同期比9.3%増）、四半期純利益は4億4千7百万円（前年同期比14.1%増）と増益になりました。



2013年春 エーグル最新モデル
「GORE-TEX トレンチコート」

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業126億7千9百万円（前年同期比3.6%増）、不動産賃貸事業9千4百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

当社グループが対処すべき課題

下期につきましては、政府の経済政策により国内景気は緩やかながら回復傾向にあります。世界経済の動向は依然として不安定であり、景気の先行きは不透明な状況が続くもの

と予想されます。

その中で当社グループといたしましては、引き続き収益性とキャッシュ・フローを重視した経営に努めてまいります。

販売面では、「エーグル」が本年で国内販売20周年を迎えるにあたり、フランスのアウトドアアーティストをルーツに、機能性とカジュアルスタイルを融合した新しいコンセプトの発信拠点として、平成25年3月16日に渋谷本店を改装オープンいたしました。平成25年4月には同様のコンセプトショップをグランフロント大阪に出店する等、「エーグル」の更なる成長を目指します。

また、下期にはその他のブランドについても直営店の出店を控えており、引き続き収益性・成長性・具体性を見込める直営店ビジネスの強化により、“小売型アパレル”への転換を進めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、期初に公表した数値に変更はなく、売上高240億円、営業利益12億円、経常利益12億5千万円、当期純利益6億5千万円を見込んでおります。また、配当につきましては、基本的に収益に対して行うべきものと考えており、配当性向を重視しつつ安定配当を目指してまいります。なお、当期の株主配当金につきましては、当初の予定通り1株当たり年間16円（中間8円、期末8円）を予定しております。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



エーグル渋谷本店
フランスの伝統的なカントリーハウス
をイメージした店内

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 平成25年2月28日現在	前 期 末 平成24年8月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	17,000,592	13,951,035
現金及び預金	3,866,881	3,750,777
受取手形及び売掛金	2,127,824	2,077,912
有 価 証 券	7,413,845	5,239,185
た な 卸 資 産	3,217,543	2,516,935
そ の 他	374,717	366,442
貸 倒 引 当 金	△ 219	△ 218
固 定 資 産	14,395,206	14,329,415
有形固定資産	10,628,711	10,628,171
無形固定資産	132,057	138,736
投資その他の資産	3,634,438	3,562,506
投資有価証券	2,048,444	1,859,977
差入保証金	1,365,073	1,320,451
そ の 他	241,083	424,343
貸 倒 引 当 金	△ 20,162	△ 42,266
資 産 合 計	31,395,798	28,280,450

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成24年9月1日から 平成25年2月28日まで	前第2四半期累計期間 平成23年9月1日から 平成24年2月29日まで
売 上 高	12,774,488	12,358,411
売 上 原 価	6,509,621	6,354,482
売 上 総 利 益	6,264,867	6,003,929
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,494,535	5,278,332
営 業 利 益	770,331	725,596
営 業 外 収 益	68,325	52,670
営 業 外 費 用	11,568	21,293
経 常 利 益	827,089	756,972
特 別 損 失	63,126	15,317
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	763,963	741,654
法人税、住民税及び事業税	327,480	306,274
法 人 税 等 調 整 額	△ 11,440	42,672
少数株主損益調整前四半期純利益	447,923	392,707
四 半 期 純 利 益	447,923	392,707

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当第2四半期末 平成25年2月28日現在	前 期 末 平成24年8月31日現在
負債の部		
流 動 負 債	8,286,230	5,940,349
支払手形及び買掛金	6,110,907	3,986,326
1年内返済予定長期借入金	742,370	700,030
そ の 他	1,432,952	1,253,992
固 定 負 債	1,496,605	1,439,854
長期借入金	666,000	600,000
そ の 他	830,605	839,854
負 債 合 計	9,782,835	7,380,203
純資産の部		
株 主 資 本	21,223,148	20,967,129
資 本 金	4,917,652	4,917,652
資 本 剰 余 金	5,644,906	5,644,906
利 益 剰 余 金	11,315,230	11,059,071
自 己 株 式	△ 654,641	△ 654,500
その他の包括利益累計額	389,815	△ 66,883
純 資 産 合 計	21,612,963	20,900,246
負 債 純 資 産 合 計	31,395,798	28,280,450

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成24年9月1日から 平成25年2月28日まで	前第2四半期累計期間 平成23年9月1日から 平成24年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,260,272	1,891,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 110,577	△ 295,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 86,474	△ 178,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,786	6,727
現金及び現金同等物の増加額	2,089,007	1,423,495
現金及び現金同等物の期首残高	8,516,897	8,159,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,605,905	9,582,533

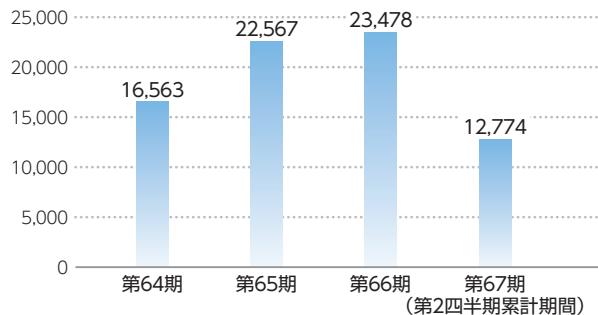
※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

財務・業務ハイライト (連結)

※第64期は決算期変更により平成21年12月1日から平成22年8月31日までの9ヶ月間となっております。

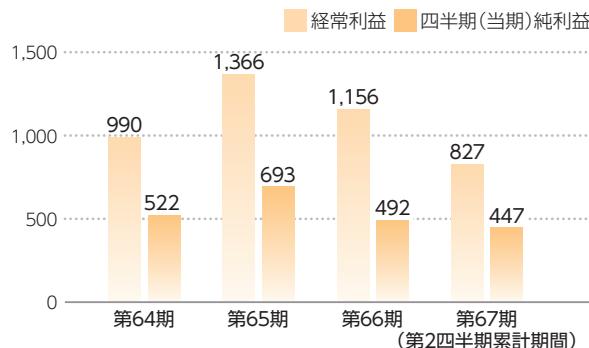
●売上高

(単位:百万円)



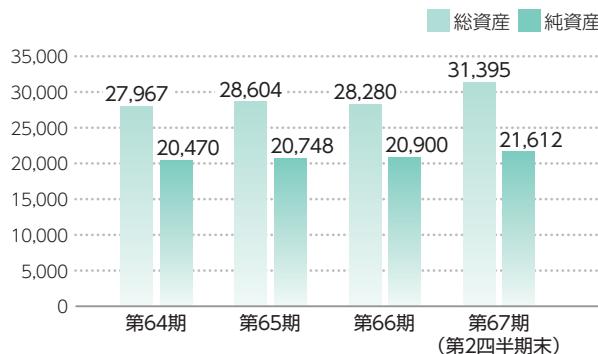
●経常利益/四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



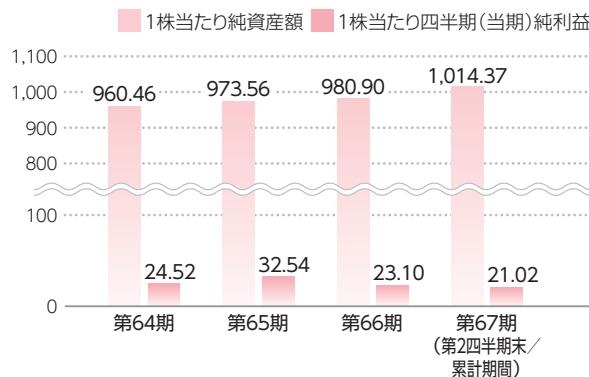
●総資産/純資産

(単位:百万円)



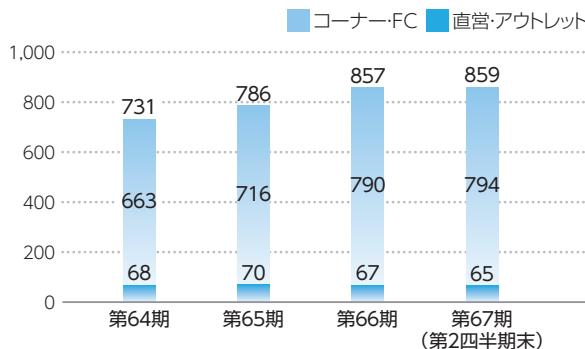
●1株当たり純資産額/1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



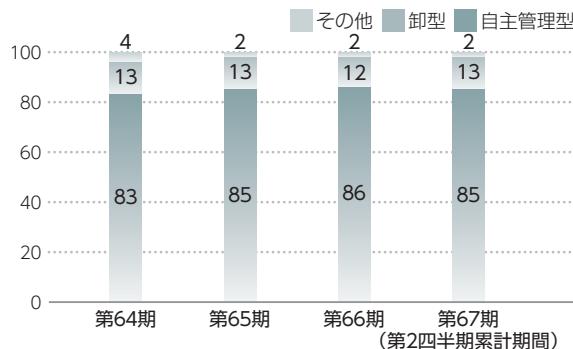
●自主管理型売場数

(単位:店)



●自主管理型売場の売上比率

(単位:%)



※上記は、製商品売上(輸出・不動産賃貸収入は除く)に占める自主管理型売場と卸型売場の比率であります。

※第65期よりeコマース売上を自主管理型売場を含めております。

株式の状況

平成25年 2月28日現在

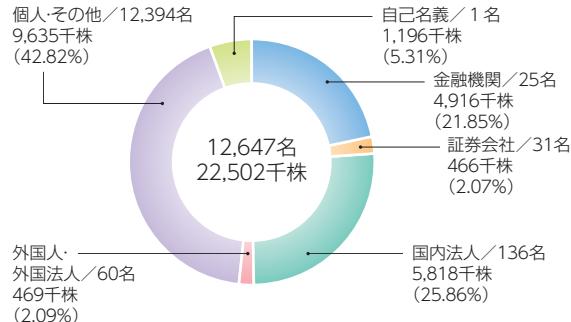
発行可能株式総数 71,977,447株
 発行済株式の総数 22,502,936株
 株主数 12,647名
 (前期末比 766名減)

大株主（上位10名）

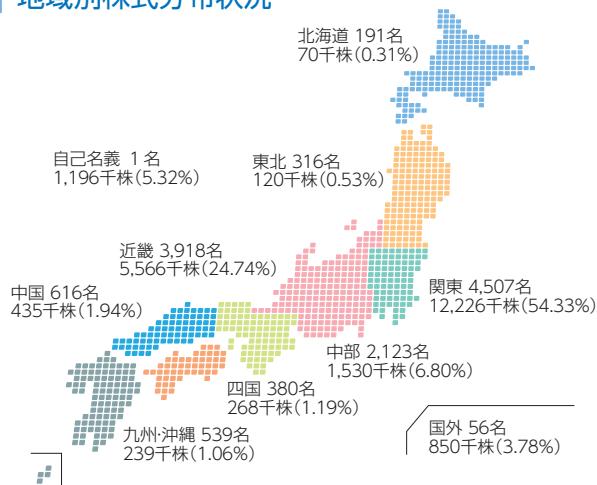
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
セネシオ有限会社	2,600	12.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,061	4.98
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	954	4.47
日本生命保険相互会社	717	3.36
盤若 智基	575	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	517	2.42
野村信託銀行株式会社(投信口)	398	1.87
藤原 美和子	374	1.75
盤若 真美	353	1.65
株式会社大林組	330	1.55

(注) 持株比率は、自己株式（1,196千株）を控除して計算しております。

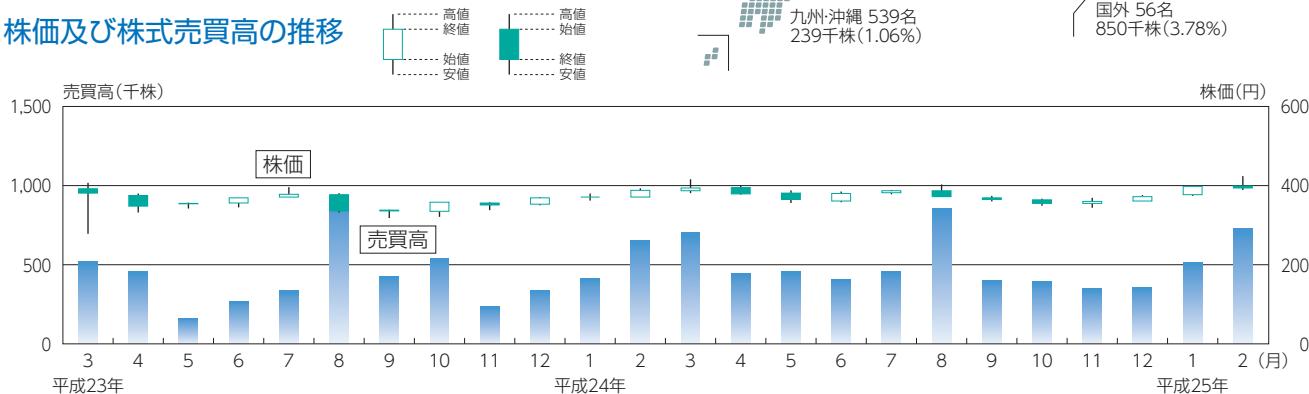
所有者別株式分布状況



地域別株式分布状況



株価及び株式売買高の推移



会社概況

平成25年2月28日現在

設立 昭和22年6月16日

資本金 4,917,652,803円

主要な事業内容 当社グループは、カジュアルウェア中心のアップル企業として、カットソーニット、布帛シャツ、横編セーター、アウター、ボトム、その他小物雑貨等の繊維製品製造販売及び不動産賃貸事業並びにこれらに関連した事業を営んでおります。

主な事業所 大阪本社 大阪市中央区博労町二丁目3番9号
東京本社 東京都大田区平和島五丁目1番1号
福岡営業所 福岡市博多区博多駅東三丁目11番28号
プレスルーム 東京都渋谷区神宮前六丁目18番5号

連結子会社 ヤマトマーチャンダイジング株式会社

本社 大阪市中央区

ヤマトファッションサービス株式会社

本社 大阪市中央区

大阪配送センター 東大阪市

上海雅瑪都時装有限公司

本社（上海工場） 中国 上海市

可似家商貿（上海）有限公司

本社 中国 上海市

当社グループの従業員数 461名（1,341名）

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第2四半期連結累計期間の平均人員を外数で記載しております。

役員の状況

平成25年2月28日現在

代表取締役社長	盤 若 智 基
取締役専務執行役員	柴 原 保 夫
取締役常務執行役員	高 橋 俊 輔
取締役常務執行役員	奥 中 信 一
取締役（社外取締役）	藤 野 勝 己
常勤監査役	内 田 勝
常勤監査役	島 正 男
監査役（社外監査役）	照 山 澄 人
監査役（社外監査役）	田 口 芳 樹
常務執行役員	樋 口 敏 昭
常務執行役員	船 原 淳 一
執行役員	安 栗 清
執行役員	松 波 恭 敬

（注）監査役 照山澄人氏は、東京証券取引所・大阪証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

株主優待制度のご案内

毎年8月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様に対して下記の基準により贈呈いたします。

【ご所有株式数】	【ご優待内容】
500株以上	自社商品 3,000円相当
100株～499株	自社商品 1,000円相当

ご優待商品の発送は12月（予定）となります。

なお、株主優待制度へのお問合せは、下記の電話番号及びメールアドレスまでお願いいたします。

電話 06-6267-7383（総務部）
メールアドレス soumubu@yamatointr.co.jp

株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会 毎年11月に開催
基準日 定時株主総会 毎年 8月31日
期末配当 毎年 8月31日
中間配当 毎年 2月末日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告により当社ホームページ
(<http://www.yamatointr.co.jp/>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問合せ先 ○証券会社に口座をお持ちの株主様
お取引の各証券会社、各取引店
○特別口座の株主様
(証券会社に口座をお持ちでない場合)
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国本支店
みずほ証券株式会社 全国本支店及び営業所
プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)

※未払配当金のお支払いにつきましては、両株主様とも上記「特別口座の株主様」のお問合せ先・お取扱店並びに、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。

(みずほ証券では取次のみとなります)

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部
証券コード 8127

特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

特別口座は証券会社の口座と異なり、株式を売買することはできません。売買等のお取引を希望される株主様は、証券会社に口座を開設いただき、特別口座から証券会社の口座に株式の振替請求をさせていただきますようお願いいたします。

ヤマト インターナショナル株式会社

〒541-0059 大阪市中央区博労町二丁目3番9号
TEL.06-6262-1661 (代表)

オンラインショップのお知らせ

トレンドのアイテムを便利にショッピングしていただけるオンラインショップです。当社ウェブサイトよりアクセスしていただけますので、ぜひご利用ください。

<http://www.yamatointr.co.jp/>



クロコダイル メンズ



アクセスしたい
ブランドを
クリック
してください。

クロコダイル レディース



クロコダイル トーキョー

